

令和元年度
学校自己評価報告書

令和2年3月
東京歯科衛生専門学校

I 教育目標および教育方針

【教育目標】

確かな専門能力をもつ歯科衛生士
人々に信頼され、心を癒せる健康支援者
判断力、創造力、行動力をもつ歯科衛生士

上記の目標を目指し次の事柄を修得させることを本校の教育方針とする。

【教育方針】

- ① 医療倫理に基づいた寛容な人間観
- ② ライフステージに合わせた健康管理および地域歯科保健活動能力
- ③ 正確で安全な歯科医療を提供するために必要な知識と技術
- ④ 相手の立場にたったコミュニケーション能力
- ⑤ 生涯学習の必要性の理解

II 平成30年度 学校自己評価について

1、基本的な考え方

本校では、30年度より学校評価事業を開始いたしました。初年度ということもあり、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価項目について実施しました。また、学生アンケート集計結果も活用し、総合的に分析、評価しました。

自己評価を行うことにより、教職員全員の意識の向上はもとより、自己評価結果を基礎におき、更なる教育の資質向上に努めていきたいと考えます。

2、実施方法

- ① 「専修学校における学校評価ガイドライン」の評価項目を参考に、全教職員にアンケートを実施する。
- ② 3年生対象のアンケート（3年間の学校生活を振り返って）を実施する。
- ③ 教職員アンケートの集計結果及び学生アンケート結果を踏まえ、校内評価委員会を開催する。委員会構成は以下の通りです。
委員長 校長
委員 事務長、教務主任、広報部長、事務及び教務から各1名選出。
- ④ 学校関係者委員会の開催。
- ⑤ 評価結果の公開は、学校関係者委員会の報告書、必要に応じて諸資料を学校HPに掲載することにより行う。

3、自己評価の項目

以下の10項目について実施します。

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学修成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生の受け入れ募集
- 8) 財務
- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

4、評価項目に対する評価

以下の基準で点数での評価を行う。

- | | |
|------------|-----------|
| 適切・・・4点 | ほぼ適切・・・3点 |
| やや不適切・・・2点 | 不適切・・・1点 |

5、評価項目の達成及び取り組み状況

1)教育理念・目標

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2
・学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	④	3	2	1
・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	4	③	2	1

①成果と課題

- ・学校の理念・目的・育成人材像をもとに職業教育が行われていると感じる。
- ・入学時、進級時のオリエンテーションをはじめ、教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識している。
- ・各学年の歯科衛生士概論の授業の中に、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する歯科衛生士の講話を設定したり、就業先ごとの最新な情報を伝えるように工夫して行っている。
しかし、レベルが下がってきている学生達にどこまで伝わっているのか不安は残るのでひとつひとつ丁寧な対応を続けていくことが大切である。

②今後の改善方策

- ・周知はされているが、学生の理解度を考えると、目標の教室掲示を行ったらより効果的であると考える。
- ・今後、卒業生の講話をさらに増やしていくことで、在校生に具体的な将来像をイメージしてもらおう。

2)学校運営

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・人事・給与に関する規定等は設備されているか	4	3	②	1
・運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	4	③	2	1
・組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	④	3	2	1
・教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	4	③	2	1
・業務効率化を図るシステム化がなされているか	4	③	2	1

①成果と課題

- ・今年度、高等教育無償化の申請に伴いシラバスの情報をHPに公開した。
- ・業務効率化を図るシステムについての改善がなされた。(スクールエイドのカスタマイズにより、成績処理がスムーズになった。)
- ・人事、給与に関する規定類の設定が未完であるが、それ以外は適切に運営できている。規定についても完成版が提示される予定である。

②今後の改善方策

- ・アナログ部分の改善
- ・業務効率化を図るシステム化について
増員も含め今後検討していく必要がある。
学生掲示板の電子化等、合理的でわかりやすい掲示方法の検討が必要である。(昨年に引き続き)

3)教育活動

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

①成果と課題

- ・学力や学習意欲に問題のない学生に対しては良いカリキュラムと学習環境を提供しており優秀なDHを育てている。
- ・入学を許可した学生に対して責任をもって向き合い教育をしていく意識を常に持っていく必要がある。
近年学習習慣の低い学生が増えていく中で、どうモチベーションをあげさせて学ばせるかが今後の課題である。

②今後の改善方策

- ・学力不足、心理的な面など問題を抱えている学生に対する支援や指導方法の研修が必要である。
- ・教職員が同じ方向を向いて教育活動を行うためのFD活動を取り入れていく必要がある。

4)学修成果

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	4	③	2	1

①成果と課題

- ・3年次の歯科衛生士概論の中で、「卒後のキャリアアップ」として3名の卒業生に講話をしてもらっている。
- ・今年度から開設した寺子屋により国家試験対策を充実させることができた。
- ・大学の傘下に入ったことにより、講師を招いての国試解説を実施することができた。
- ・スクールカウンセラーの職域を拡充してもらい、より多くの教育現場で退学防止に協力していただけた。
- ・同窓会との連携をもう少し密にする。

②今後の改善方策

- ・国家試験全員合格に向け、寺子屋を含めた対策をさらに充実させていく。
- ・同窓会との連携強化のため、何ができるか(必要か)を分掌担当者と管理職で審議していく。

5) 学生支援

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生への生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	③	2	1

① 成果と課題

- ・就学支援制度が新たに追加され(対象校となる)学生に対する経済的な支援体制が強化された。
- ・特に就職課があるわけではないので支援体制に対しては、稀薄である。
- ・29年度より導入したスクールカウンセラーの配置は、精神面における多様な学生への不安面での解消はもとより、教員への「特に配慮の必要な学生支援」のサポート・アドバイスにも着手してもらっている。
- ・教員会議を通じて学生の状況把握に努め、共有し学生支援に活かしている。
- ・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。
- ・卒業生には、再就職支援、図書の貸し出し等の支援を実施している。

② 今後の改善方策

- ・専門のキャリアカウンセラーの配置(昨年に引き続き)ができるかの検討課題とする。
- ・卒業生の教員を増やし同窓会との連携を密にして、卒業生のキャリアアップ等の支援体制を強化する。

6) 教育環境

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	4	④	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 成果と課題

- ・屋上ドアの交換、ウッドデッキの補修など学生の防火・安全に配慮する工事を実施した。
- ・都内で学生が通える場所に法人が実習施設としてのクリニックを開設することが望まれる。
- ・来年度より、都内の総合病院での実習がさらに2か所増え、多様な臨地実習を行えるように整備している。
- ・海外研修については、法人の短期大学で実施しているので、本学生にも同体制がとれるか検討が望まれる。

② 今後の改善方策

- ・引き続き新しい機器を導入し、学生が現場に出たときに抵抗なく扱えるようにする。
- ・実習先の開拓は、今後も必要であり、法人関係の実習先を増やしていきたい。
- ・ユニットの交換、昨年度実施できなかった3階のトイレの改修工事の実施の検討を進めていく。
- ・法人短期大学が実施している海外研修旅行を組み入れていくカリキュラムの模索をしていく。

7) 学生の受入れ募集

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	・学生募集活動は、適切に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 成果と課題

- ・募集活動は適切に行われているが、入学する学生の学力の底上げが望まれる。
- ・2年連続での定員充足ができています。

② 今後の改善方策

- ・指定校推薦での入学者数が思うように伸びていないので、高校への広報活動をより活発にする。
実績校ではない高校に対しても積極的に広報し、高校や高校生への本校認知度の向上を目指す。
- ・入学試験時のセレクション方法等の検討をしていく。

8) 財務

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正におこなわれているか	④	3	2	1

① 成果と課題

- ・歯科大学の傘下に入ったことで財務基盤が安定した。
- ・2019年度のTDH償却前経常収支は黒字決済の予定。
- ・2年連続しての入学定員充足と退学者防止対策により、2020年度は、在籍数220名となり減価償却引当金も多少積みそうである。

② 今後の改善方策

- ・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め220名の以上の在籍を保つ。

9) 法令等の遵守

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 成果と課題

- ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を公開した。
- ・専修学校や養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。

② 今後の改善方策

- ・今まで以上にコンプライアンス体制の強化、教職員に対しての法令遵守に努める。

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 成果と課題

- ・本年度もキッズイベントを開催した。参加者も拡大した。また、桜祭りも開催予定である。
- ・次年度は外部の歯科関係者団体に学校施設を貸す予定があり、社会貢献にも取り組み始めている。
- ・法人の講師からの呼びかけにより、学会ボランティア活動を学生に周知することができた。

② 今後の改善方策

- ・もっと地域にアピールするために、引き続きキッズイベント、さくら祭りの継続をしていく。
- ・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。